

## 外国語教育実践に係るレポート

弟子屈町立弟子屈中学校

教諭 林田伸一

### ①取り組むきっかけ等

4年前に現在の弟子屈中学校に赴任しました。その頃、弟子屈町と玉川大学が包括連携に関する協定を締結し、その一環としてイングリッシュキャンプが計画されました。小中学生が対象なので、英語教員として実行委員になり協力させていただくことになりました。

### ②取組を通じて、達成したこと、満足したこと、うれしかったこと

自分も過去に経験したことのない初めてのことでしたので、イメージがつかない状況の中、教育委員会と実行委員のメンバーでいろいろな案を検討し、また、玉川大学の教職員、学生の皆さんの協力のもと、立派な施設も使用させて頂き、3回の実施を数えることができました。主な内容は、自己紹介に始まり、ゲーム、英会話、大学の先生の話や学生による英語活動、イングリッシュキッチンなどです。どの活動にも児童生徒は知っている英語を駆使して楽しみながら取り組んでいました。その中でも生徒アンケートで評価が高かったのは English トライアルでした。結構な難問もあったのですが、個別にいくつかの課題に取り組むことに充実感、満足感があつたようでした。その自信が、その後の授業にも発揮され、意欲的に英語を使おうとする姿勢が見られるようになったことがとてもよかったです。さらにリピーターも増え、3年連続で参加する生徒がいたことも大きな喜びでした。

### ③取組を進める上で、苦労したこと

2年目からは、内容ごとに担当者を割り振り、よりそれぞれのアイディアを出し合いながら計画を立てました。普段、小学生と関わるのが少ないので、小学生がどのような反応をするのか、どのような活動が効果的なのかなどわからないことが多くありましたが、小学校の先生方の発想や子どもの気持ちを盛り上げ、活動に熱中させるアイディアや実践を見ることができ大変新鮮で参考になりました。

### ④取組を進める上で、日頃から心がけていること

イングリッシュキャンプから話は変わりますが、授業づくりにおいていつも心がけていることは、いかにそのターゲットセンテンスを使う状況を作るかということです。ALTとのスキットづくりをはじめ、ビデオ撮影をして活用したり、ワークシートを工夫したり、具体物、ときには金髪のウィッグを使ったこともありました。目的・場面・状況を大切にして取り組んでいます。

### ⑤今後の取組について

昨年度、英語教育推進リーダーという大役を仰せつかり、研修を受け、地域に還流させていただきました。自分自身もこれから更なる実践に努めていきたいと思っております。